

# 公益財団法人 交通遺児育英会

## 令和 7 年度 事業報告

本年度は第6次長期事業計画（R7～11）の初年度に当たる。同計画が掲げる重点課題の達成に向けた取り組みを開始し、各事業で大きな成果を上げることができた。

修学支援事業においては、進学受験費用補助および自動車運転免許取得費用補助の増額ならびに心塾関西寮費の値下げを実施したほか、家賃補助の増額（令和8年度開始）についても決定した。また、奨学生や保護者からの要望に応じて、検定試験費用補助を英語以外の7言語に拡大したほか、進学や就職に有利な資格の取得費用補助については、補助対象資格の拡充に努めた。

新奨学金管理システムの構築については、プロジェクトチームを発足し、令和9年度末の完成に向けてシステム開発を開始した。

緊急要支援者（ヤングケアラー等）への支援については、昨年度に引き続き本年度もアンケート調査を実施した。調査結果を元に緊急度が高いと思われる方への個別面談を進め、必要な支援に向けた実態把握を行った。

通常業務の奨学生の採用については、例年どおり全国の学校、教育委員会等に向け積極的な募集・広報活動を行った結果、前年度に比べ新規採用者は増加したが、継続採用者は減少し、全体ではほぼ前年度並みの水準となった。

奨学貸与金の回収については、電話督促や戸別訪問などを積極的かつ効率的に行った結果、令和7年度計画を上回る回収額となり、滞納額についても前年度に比べて約1億円減少（▲14.2%）させることができた。一方、生活困窮者に対する返還免除対応を推進するなど本年度も返還者に寄り添った対応を継続した結果、返還免除額は4年連続して増加した。

広報活動については、本年度も、当会の知名度向上、支援の拡大を図る活動を精力的に行った。各自治体が実施する交通安全推進イベントに積極的に参加するとともに、昨年度を上回る回数の無料出張講演を実施した。メディアとの良好なリレーション作りに注力し、当会のイベントや様々な取り組みについても、タイムリーかつ積極的に発信した。

寄付金収入については、一般寄付額の減少により、計画額（8億5,000万円）を下回り、6億7,400万円となった。

以下に事業別の詳細を記載する。第6次長期事業計画の重点課題については、本文中、項目番号の前に＊印を付してある。

## I. 奨学生の採用および奨学金の貸与等

近年の当会奨学事業を取り巻く環境は大きく変化している。

- ①大きい要因として、交通事故死傷者数の減少による交通遺児家庭の減少と少子化がある。
- ②高校については、平成22年度より高校無償化法（公立高等学校授業料不徴収および私立高等学校等就学支援金支給）が実施され、さらに平成26年度には法改正で低所得者への支援金支給が拡充されたことが挙げられる。
- ③また、令和2年度より大学等における修学の支援に関する法律に基づき、高等教育の修学支援新制度が発足し、授業料等減免や給付型奨学金が創設され、高等教育を取り巻く環境が変化した。修学支援新制度では、令和6年度に給付型奨学金の収入制限が緩和され、さらに令和7年度には、多子世帯に対する大学等の無償化が開始されるなど、制度の拡充が着実に進んでいる。
- ④一方、各都道府県や各大学等においては独自の奨学金制度があり、これらの奨学金制度の多くは他奨学金との併受給を禁止している。

（参考） ＜最近5年間の交通事故死者数・負傷者数の推移：警察庁交通局＞

| 年          | R3    | R4    | R5    | R6    | R7    |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 交通事故死者数（人） | 2,636 | 2,610 | 2,678 | 2,663 | 2,547 |
| 同 負傷者数（千人） | 362   | 356   | 366   | 344   | 338   |

こうした影響は、令和3年度以降の奨学生採用数でみると下表のとおりである。

奨学生採用数は、令和3年度の971人から令和7年度の887人へと5年間で84人減少しているが、直近3年間ではほぼ同水準で推移している。前年度と比較すると、学校区分別では、高校奨学生が10人増加した一方、大学奨学生は9人減少した。また、大学院奨学生は8人増加し、専修学校奨学生は6人減少した。奨学金総額では、令和3年度の6億1,200万円から令和7年度の4億8,800万円へと1億2,400万円減少している。

＜最近5年間の奨学生採用数・貸与金額の推移＞

（人、百万円）

| 年 度 | 高 校 | 大 学 | 大学院 | 専 修 | 各 種 | 合 計 | 奨学金総額 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| R3  | 255 | 567 | 24  | 121 | 4   | 971 | 612   |
| R4  | 235 | 569 | 29  | 132 | 4   | 969 | 598   |
| R5  | 217 | 523 | 25  | 120 | 2   | 887 | 535   |
| R6  | 277 | 483 | 24  | 98  | 2   | 884 | 495   |
| R7  | 287 | 474 | 32  | 92  | 2   | 887 | 488   |

（注）「高校」は「高専」を、「大学」は「短大」を含む。以下同じ。

# 1. 令和7年度奨学生の採用および奨学金の貸与・給付額

＜令和7年度奨学生採用者数と奨学金および入学一時金等貸与（一部給付※）額＞

|                                         |                   | 新規採用者(人)             |           | 継続採用者(人)     |           | 採用者合計(人)     |           | 貸与額<br>(千円)          | 給付額※<br>(千円)         |
|-----------------------------------------|-------------------|----------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------|----------------------|----------------------|
|                                         |                   | 実績                   | 前年<br>同期比 | 実績           | 前年<br>同期比 | 実績           | 前年<br>同期比 |                      |                      |
| 奨<br>学<br>金                             | 高 校               | 132                  | -19       | 155          | 29        | 287          | 10        | 52,780               | 33,240               |
|                                         | 大 学               | 127                  | 27        | 347          | -36       | 474          | -9        | 159,960              | 104,940              |
|                                         | 学 院               | 21                   | 9         | 11           | -1        | 32           | 8         | 19,680               | 7,680                |
|                                         | 専 修               | 34                   | -6        | 58           | 0         | 92           | -6        | 32,240               | 20,020               |
|                                         | 各 種               | 1                    | 1         | 1            | -1        | 2            | 0         | 960                  | 480                  |
|                                         | 合 計<br>(R6年度)     | 315<br>(303)         | 12        | 572<br>(581) | -9        | 887<br>(884) | 3         | 265,620<br>(266,380) | 166,360<br>(163,010) |
|                                         |                   | 431,980<br>(429,390) |           |              |           |              |           |                      |                      |
| 入<br>学<br>一<br>時<br>金<br>等              | 高 校               | 33                   | 5         | —            | —         | 33           | 5         | 16,200               | 0                    |
|                                         | 大 学               | 20                   | 5         | —            | —         | 20           | 5         | 14,400               | 0                    |
|                                         | 専 修               | 5                    | -8        | —            | —         | 5            | -8        | 3,600                | 0                    |
|                                         | 各 種               | 1                    | 1         | —            | —         | 1            | 1         | 800                  | 0                    |
|                                         | 支援金※ <sup>2</sup> | 3                    | 1         | —            | —         | 3            | 1         | 2,200                | 0                    |
|                                         | 合 計<br>(R6年度)     | 62<br>(58)           | 4         | —            | —         | 62<br>(58)   | 4         | 37,200<br>(35,200)   | 0                    |
| 準備金<br>(R6年度)                           |                   | —                    | —         | 25<br>(40)   | -15       | 25<br>(40)   | -15       | 18,400<br>(30,200)   | 0                    |
| 令和7年度奨学金および入学一時金等貸与（一部給付※）額合計<br>(R6年度) |                   |                      |           |              |           |              |           | 487,580<br>(494,790) | 0                    |

※ 一部給付はR2年度（大学・大学院・専修・各種）、R5年度（高校）より開始

※<sup>2</sup> R6年度より取扱開始

令和7年度の奨学生の新規採用として、令和6年度に予約決定した新1年生の本採用、および令和7年度に1年生以上に在学している者の在学採用を実施した。

新規採用数は、高校奨学生が前年度比19人減少した一方、大学奨学生は27人増加した。大学院奨学生は9人増加し、専修学校奨学生は6人減少、各種学校奨学生は1人増加となった。全体では前年度に比べ12人増加し、合計315人となった。

2年生以上の継続採用者は、高校奨学生が前年度比29人増加した一方で、大学奨学生が36人の大幅減少となった。また、大学院奨学生、各種学校奨学生はそれぞれ1人減少し、専修学校奨学生は前年と同数であった。その結果、全体では前年度に比べ9人減少し、合計572人となった。

これらにより、令和7年度採用者合計は887人となり、前年度を3人上回った。

令和7年度の奨学金の貸与・給付総額は4億3,200万円となり、前年度に比べて

300万円増加した。また、入学一時金等の貸与者は、前年度に比べ4人増の合計62人、貸与額は前年度より200万円増加し、3,700万円となった。高校奨学生3年生への進学準備金の貸与は、前年度に比べ15人減少し25人、貸与額は前年度より1,200万円減少し、1,800万円となった。

この結果、令和7年度の奨学金および入学一時金・進学準備金の貸与・給付総額は4億8,800万円となり、前年度に比べ700万円の減少となった。

## 2. 奨学生の退学、辞退等の状況

令和7年度における退学、辞退者等は前年度（35人）より11人減少し、合計24人であった。これにより令和7年度末奨学生総数は863人となった。

＜令和7年度奨学生採用数の内訳および年度末奨学生数＞ (人)

| 学 校   | 新 規 採 用 者 |          |     | 継 続<br>採用者 | 採用者<br>合 計 | 退学・<br>辞退者等<br>( )内は前年度 | 年度末<br>奨学生数 |
|-------|-----------|----------|-----|------------|------------|-------------------------|-------------|
|       | 予約<br>採用  | 在学<br>採用 | 合計  |            |            |                         |             |
| 高 校   | 71        | 61       | 132 | 155        | 287        | 5( 5)                   | 282         |
| 大 学   | 100       | 27       | 127 | 347        | 474        | 14(22)                  | 460         |
| 大学院   | 12        | 9        | 21  | 11         | 32         | 0( 1)                   | 32          |
| 専修/専門 | 26        | 6        | 32  | 53         | 85         | 2( 6)                   | 83          |
| 専修/高等 | 2         | 0        | 2   | 5          | 7          | 3( 1)                   | 4           |
| 各 種   | 1         | 0        | 1   | 1          | 2          | 0( 0)                   | 2           |
| 合 計   | 212       | 103      | 315 | 572        | 887        | 24(35)                  | 863         |

また、令和7年度末の奨学金の休止および一時停止者は下表のとおりであり、高校奨学生1人、大学奨学生24人、専修学校奨学生2人の合計27人である。前年度末より1人減少した。

＜休止、一時停止の状況＞ (人)

|       | 高 校 | 大 学 | 大学院 | 専修・各種 | 合 計 |
|-------|-----|-----|-----|-------|-----|
| R6年度末 | 1   | 22  | 0   | 5     | 28  |
| R7年度末 | 1   | 24  | 0   | 2     | 27  |
| 増 減   | 0   | 2   | 0   | -3    | -1  |

## 3. 令和8年度奨学生の予約採用および心塾入寮予約採用

令和8年度に進学する者のための予約採用を例年どおり実施した。予約決定者数の合計は下表のとおり178人で、令和7年度の229人（高校74人、大学116人、大学院12人、専修・各種27人）に対し、51人の大幅減少となった。中でも高校予約決定者数は、前年度比23人の減少となった。

東京学生寮、関西学生寮の入寮予約採用も実施した。前年度比で、東京寮は12人減少、関西寮は9人の減少となった。

＜令和8年度奨学生・入寮生の予約決定者数＞ (人)

|           | 高 校        | 大 学         | 大学院        | 専修・各種      | 合計           |
|-----------|------------|-------------|------------|------------|--------------|
| 予約決定者数    | 51<br>(74) | 98<br>(116) | 11<br>(12) | 18<br>(27) | 178<br>(229) |
| 東京寮予約決定者数 | —          | 18<br>(30)  | 1<br>(1)   | 1<br>(1)   | 20<br>(32)   |
| 関西寮予約決定者数 | —          | 22<br>(26)  | 1<br>(4)   | 0<br>(2)   | 23<br>(32)   |

( )内は前年度実績

#### 4. 奨学生の募集広報活動

募集案内を、全国の中学校および高等学校には、年度初めと2学期の終わり頃の年2回、大学・大学院および専修・各種学校には年度初めに送付した。都道府県や市町村の教育委員会、警察等の関係部署、全国の自動車教習所等にも募集協力依頼を年度初めに送付した。これら送付先の総数は約3万件である。

当会ホームページには、詳細な奨学生募集案内を学校種別、予約・在学別に掲載し、願書については直接ダウンロードできるようにしており、同ページからの応募関係書類送付申込みや質問の受付を実施している。受付けた申込みや質問への適切かつスピーディーな対応にも鋭意取り組んでいる。

## Ⅱ．奨学金の返還

奨学金返還においては、電話督促や戸別訪問などを効率的・効果的に行った結果、令和7年度の返還額は8億7,500万円となり、令和7年度事業計画（8億4,000万円）を上回った。返還率（回収額／請求額）は90.1%となり、前年度実績（91.9%）および令和7年度事業計画（91.3%）を下回った。また、滞納額（6か月超）は、前年度に比べて約1億円（▲14.2%）の大幅な減少となった。

一方、令和4年度規定改定に加え、令和6年12月度にさらに、返還を余儀なくされている年金生活者を残債免除とするなど規定を追加改定したことにより免除に繋がるケースが増え、免除額は前年度を大きく上回った。

### 1．返還金回収事務の推進状況

#### (1) 返還金の回収状況

令和7年度の返還対象件数は10,871件、奨学金と入学一時金（進学準備金を含む）を合わせた返還額は8億7,500万円、請求額（令和7年度中に返還期限が到来した要返還額9億7,134万円）に対する返還率は90.1%であった（前年度は91.9%）。

なお、令和7年度および最近5年間の回収状況は以下のとおり。

＜令和7年度回収ルート別の返還額＞ (百万円)

|     | 口座振替           | 振込み          |              |                | 合 計             |
|-----|----------------|--------------|--------------|----------------|-----------------|
|     |                | 銀行           | ゆうちょ銀行       | コンビニ           |                 |
| 返還額 | 662<br>(75.7%) | 27<br>(3.1%) | 19<br>(2.1%) | 167<br>(19.1%) | 875<br>(100.0%) |

＜令和7年度返還金回収状況＞

|            | 奨学金      | 一時金     | 合 計      |
|------------|----------|---------|----------|
| 返還件数       | 10,871 件 | 5,639 件 | 10,871 件 |
| 返還額(①)(千円) | 735,212  | 139,783 | 874,995  |
| 請求額(②)(千円) | 810,771  | 160,502 | 971,274  |
| 返還率 (①/②)  | 90.7%    | 87.1%   | 90.1%    |
| 返還完了件数     | 813 件    | 365 件   | 813 件    |

＜最近5年間の返還金回収状況＞ (百万円)

|         | R3 年度    | R4 年度    | R5 年度    | R6 年度    | R7 年度    |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 返 還 件 数 | 12,486 件 | 11,972 件 | 11,821 件 | 11,345 件 | 10,871 件 |
| 返 還 額   | 1,000    | 1,001    | 977      | 922      | 875      |
| 返 還 率   | 88.1%    | 90.7%    | 91.6%    | 91.9%    | 90.1%    |
| 返還完了件数  | 807 件    | 799 件    | 773 件    | 758 件    | 813 件    |

(2) 返還猶予

令和7年度中に返還猶予を承認決定した件数は1,039件で、前年度より145件少なかった。

1,039件のうち、病気療養を含む経済的理由による件数が941件(90.6%)あり、経済的理由による返還猶予の申し出は引き続き高い水準で推移している。

＜最近5年間の返還猶予決定件数＞ (件)

|        |            | R3年度           | R4年度             | R5年度             | R6年度             | R7年度           |
|--------|------------|----------------|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 猶予決定件数 |            | 1,123          | 1,379            | 1,362            | 1,184            | 1,039          |
| 内<br>訳 | 在学中<br>浪人中 | 105<br>(9.3%)  | 103<br>(7.5%)    | 88<br>(6.5%)     | 75<br>(6.3%)     | 81<br>(7.8%)   |
|        | 経済的<br>理 由 | 981<br>(87.4%) | 1,220<br>(88.5%) | 1,185<br>(87.0%) | 1,076<br>(90.9%) | 941<br>(90.6%) |

(3) 返還滞納者の状況

令和7年度末の滞納状況は合計で1,774件(前年度差▲124件)、6億1,410万円(同▲1億130万円、▲14.2%)と件数・金額ともに前年より減少した。

特に「5年超の長期滞納」が674件(同▲189件)、4億4,614万円(同▲1億942万円、▲19.7%)と大きく減少した。

＜令和7年度末滞納期間別滞納状況＞

| 滞 納 期 間  | R6年度末     |            | R7年度末     |            | 差異        |                     |
|----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|---------------------|
|          | 件数<br>(件) | 金額<br>(千円) | 件数<br>(件) | 金額<br>(千円) | 件数<br>(件) | 金額<br>(千円) (増加/減少率) |
| 5年超      | 863       | 555,576    | 674       | 446,149    | ▲189      | ▲109,427 (▲19.7%)   |
| 4年超5年以下  | 84        | 31,486     | 52        | 15,976     | ▲32       | ▲15,510 (▲49.3%)    |
| 3年超4年以下  | 94        | 24,701     | 119       | 32,551     | +25       | +7,850 (+31.8%)     |
| 2年超3年以下  | 191       | 37,680     | 228       | 47,463     | +37       | +9,783 (+25.9%)     |
| 1年超2年以下  | 362       | 46,061     | 436       | 53,773     | +74       | +7,712 (+16.7%)     |
| 小 計      | 1,594     | 695,504    | 1,509     | 595,912    | ▲85       | ▲99,592 (▲14.3%)    |
| 6か月超1年以下 | 304       | 19,904     | 265       | 18,189     | ▲39       | ▲1,715 (▲8.6%)      |
| 合 計      | 1,898     | 715,408    | 1,774     | 614,101    | ▲124      | ▲101,307 (▲14.2%)   |

＜最近5年間の滞納状況＞

|       | 1年超滞納 |         | 5年超滞納 (左欄の内数) |                 |
|-------|-------|---------|---------------|-----------------|
|       | 件数(件) | 金額(千円)  | 件数(件)         | 金額(千円)          |
| R3年度末 | 2,509 | 992,352 | 1,133 (45.2%) | 697,238 (70.3%) |
| R4年度末 | 2,100 | 914,415 | 1,092 (52.0%) | 688,865 (75.3%) |
| R5年度末 | 1,774 | 790,189 | 958 (54.0%)   | 609,319 (77.1%) |
| R6年度末 | 1,594 | 695,504 | 863 (54.1%)   | 555,576 (79.9%) |
| R7年度末 | 1,509 | 595,912 | 674 (44.7%)   | 446,149 (74.9%) |

(注) ( ) 内は1年超滞納合計に占める割合

#### (4) 返還免除の状況

令和7年度中の返還免除は、件数は237件と前年度を下回ったが、免除額は1億5,088万円となり、金額で前年度を上回った。

中でも、生活保護と住民税非課税による免除は、件数で計157件、合計金額で7,920万円、心身障害による免除は、件数で29件、金額で2,666万円であった。

＜令和7年度返還免除件数・金額と5年間の推移＞

(千円)

|          | R3 年度 |        | R4 年度 |        | R5 年度 |         | R6 年度 |         | R7 年度 |         |
|----------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
|          | 件数    | 金額     | 件数    | 金額     | 件数    | 金額      | 件数    | 金額      | 件数    | 金額      |
| 死 亡      | 8     | 5,100  | 15    | 11,909 | 18    | 13,130  | 22    | 15,371  | 18    | 15,720  |
| 心 身 障 害  | 31    | 34,909 | 40    | 49,305 | 50    | 58,684  | 40    | 38,284  | 29    | 26,669  |
| 債 務 整 理※ | 15    | 21,613 | 12    | 4,456  | 8     | 4,212   | 17    | 17,809  | 15    | 12,671  |
| 生活保護     | 38    | 2,129  | 54    | 9,714  | 43    | 4,241   | 45    | 6,419   | 41    | 10,300  |
| 住民税非課税   | 18    | 2,383  | 69    | 6,022  | 161   | 24,968  | 171   | 36,194  | 116   | 68,900  |
| 小計       | 56    | 4,512  | 123   | 15,736 | 204   | 29,209  | 216   | 42,613  | 157   | 79,200  |
| 特別支援学校   | 0     | 0      | 1     | 1,840  | 2     | 4,080   | 2     | 3,760   | 0     | 0       |
| そ の 他    | 9     | 7,545  | 7     | 3,108  | 1     | 660     | 7     | 3,290   | 18    | 16,616  |
| 計        | 119   | 73,679 | 198   | 86,516 | 283   | 109,977 | 304   | 121,179 | 237   | 150,880 |

※自己破産、個人再生を含む。

#### (5) 滞納者への督促状等の送付

滞納期間3か月超の滞納者に対し、4月と10月に督促状を送付した。また10月から返還開始（新返還者）の滞納者（滞納1回以上）に対しては、令和8年3月に初回未納通知20通を発送した。

＜督促状等の発送件数＞

(通数)

| 滞納期間  | 滞納通知書<br>(滞納3か月超) | 督促通知書<br>(滞納3年超) |
|-------|-------------------|------------------|
| 4月発送  | 1,479             | 947              |
| 10月発送 | 1,437             | 845              |
| 計     | 2,916             | 1,792            |

なお、滞納期間が3年超の督促通知書は、滞納通知書（3か月超）より厳しい文言で今後の返還計画を回答するよう求めるものとした。

## 2. 重点課題の推進状況

### ＊(1) 長期滞納者対策の推進

#### ①戸別訪問の実施

長期滞納者宅への戸別訪問により滞納解消を実施。訪問戸数は269戸、対象件数は359件、滞納解消件数は133件で、滞納解消率37.0%であった。

＜滞納者現地訪問 地域別実績＞

|      | エリア       | 北海道   | 東北    | 関東    | 中部    | 関西    | 中国    | 四国    | 九州<br>沖縄 | 合計    |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| R4年度 | 訪問戸数      | 0     | 36    | 33    | 72    | 56    | 0     | 41    | 40       | 278   |
|      | 訪問件数 A    | 0     | 52    | 49    | 95    | 89    | 0     | 53    | 53       | 391   |
|      | 滞納解消件数 B  | 0     | 22    | 22    | 42    | 38    | 0     | 22    | 23       | 169   |
|      | 滞納解消率 B/A |       | 42.3% | 44.9% | 44.2% | 42.7% |       | 41.5% | 43.4%    | 43.2% |
| R5年度 | 訪問戸数      | 26    | 0     | 83    | 37    | 0     | 48    | 0     | 67       | 261   |
|      | 訪問件数 A    | 34    | 0     | 103   | 53    | 0     | 61    | 0     | 89       | 340   |
|      | 滞納解消件数 B  | 14    | 0     | 43    | 24    | 0     | 23    | 0     | 38       | 142   |
|      | 滞納解消率 B/A | 41.2% |       | 41.7% | 45.3% |       | 37.7% |       | 42.7%    | 41.8% |
| R6年度 | 訪問戸数      | 24    | 60    | 27    | 36    | 0     | 25    | 30    | 96       | 298   |
|      | 訪問件数 A    | 34    | 81    | 32    | 52    | 0     | 33    | 37    | 139      | 408   |
|      | 滞納解消件数 B  | 15    | 40    | 15    | 16    | 0     | 14    | 15    | 60       | 175   |
|      | 滞納解消率 B/A | 44.1% | 49.4% | 46.9% | 30.8% |       | 42.4% | 40.5% | 43.2%    | 42.9% |
| R7年度 | 訪問戸数      | 11    | 19    | 55    | 0     | 52    | 0     | 32    | 100      | 269   |
|      | 訪問件数 A    | 13    | 26    | 76    | 0     | 70    | 0     | 39    | 135      | 359   |
|      | 滞納解消件数 B  | 5     | 13    | 24    | 0     | 26    | 0     | 15    | 50       | 133   |
|      | 滞納解消率 B/A | 38.5% | 50.0% | 31.6% |       | 37.1% |       | 38.5% | 37.0%    | 37.0% |

② 3年超滞納者宛て督促通知の送付

前述（1(5)）のとおり、令和7年3月末時点および9月末時点で3年超の滞納となっている返還者へ督促通知を送付し、返還を促した。

③調停申し立て

滞納者に対する民事調停申し立てについては、実施件数 21 件、入金・返還約束件数 8 件、滞納解消金額 1,124 万円であった。

＊(2) 3か月超5年以下滞納者への電話督促

滞納者に対する電話督促については、督促架電件数 3,116 件、滞納解消件数 530 件、滞納解消率 17.0%であった。

### 3. 新奨学金管理システムの構築

第6次長期事業計画（R7～11）に基づき、奨学課、指導課と共同で新システムを開発する。

令和7年度は開発業者を決定してプロジェクトチームを発足し、令和8年2月末までに要件定義まで完了した。令和9年度末の完成を目指す。

### Ⅲ. 奨学生に対する指導

#### 1. 学業成績および生活状況に関する指導

##### (1) 学業成績に関する指導

年度末に奨学生在学の学校から提出された「学業成績表」と奨学生の「生活状況報告書」により奨学金交付の審査を行った。進級状況や修得単位数を元に、また傷病等やむを得ない事情を考慮し、奨学金の継続の可否を判定、成績不良者については奨学金停止の措置をとり、学業成績表の内容から見て最短修業年限での卒業が危ぶまれるおそれのある奨学生に対してはヒアリングを行い、注意喚起の文書を送付した。

##### (2) 生活状況に関する指導

令和8年1月末までに奨学生から「令和7年度生活状況報告書（アンケート形式）」とテーマ自由の作文の提出を受け、奨学生の修学状況や意欲、生活状況、家庭環境を把握し、各種要望や質問などに対応した。

生活状況報告書は、記述内容を集計・分析のうえ、奨学生の指導に活用する。

##### (3) ヤングケアラーの実態把握

令和7年6月、高校・大学・専門学校など全奨学生743人を対象として、「奨学生の生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー調査）」を実施した。

＜ヤングケアラー調査結果の概要＞ (人)

|              |       | R6年度       | R7年度       |
|--------------|-------|------------|------------|
| 対象人数         |       | 830        | 743        |
| 回答者数（回答率）    |       | 366(44.0%) | 467(62.9%) |
| 世話をしている家族の有無 | 現在いる  | 41(11.2%)  | 43(9.2%)   |
|              | 過去にいた | 17(4.6%)   | 15(3.2%)   |
|              | 計     | 58(15.8%)  | 58(12.4%)  |

前年度に引き続き11月にアンケート結果を公表し、ヤングケアラー支援に対する当会の積極的な姿勢を示した。

また、第6次長期事業計画で掲げた「気づく」、「つなぐ」、「支援する」、「見守る」、という対応を具体的に実行するため、『緊急要支援者（ヤングケアラー等）対策検討プロジェクト』を10月に発足した。「気付く」ため、お世話をしている家族（「過去にいた」を含む）への面談は8割以上終了しており、今後「つなぐ」「支援する」の段階に移行する。

- ①気づく……定期的な調査や現行の各種回答書等により、ヤングケアラー等の実態を把握する。
- ②つなぐ……サポートが必要な奨学生および元奨学生（本人・家族）に、地域の支援団体を紹介する。
- ③支援する……①で把握できない場合や緊急を要する場合は、本人・家族と面談を行い、必要な支援（元奨学生は返還免除、現奨学生は検討中）を実施する。
- ④見守る……定期調査や回答書等の精査に加えて、関係各課で常に情報共有して小さな変化も見逃さないようにする。

## 2. 高校奨学生と保護者のつどい

8月16日(土)、17日(日)の2日間、全国の高校奨学生と保護者を対象とした「高校奨学生と保護者のつどい」を東京高輪のホテルで開催した。全国各地から、高校奨学生81人、保護者76、同伴家族26人、計183人が参加した。

内容は、①講演会、②保護者懇談会とグループワークゲーム（高校奨学生と同伴者の小・中学生）、③懇親会の三部構成とし、講演会では、高校奨学生OB（心塾東京寮生）と保護者が講演した。保護者懇談会では、10グループに分かれて奨学生の学習や進路、生活状況など当面する問題について情報交換、意見交換を行った。この間、高校奨学生たちは別会場でグループワークゲームに参加し、親睦を深めた。また、懇親会後の個別相談会では、4組の保護者が相談に訪れた。

2日目は「心塾東京寮」の見学会を行った。高校奨学生11人、保護者・同伴者19人、計30人が参加し、昨年度リニューアルオープンした心塾東京寮を見学した。

2日目に行ったアンケート調査結果では、「つどいに参加してよかったか」の設問に、保護者および高校奨学生の94%が「とても良かった」「良かった」と回答した。「つどいに参加してよかったこと（複数選択回答）」については、保護者の93%が「懇談会で同じ体験や境遇の人達と意見交換できたこと」、76%が「同じ経験や境遇の人達の講演を聞いたこと」と回答し、奨学生では49%が「グループワークゲームに参加したこと」、36%が「育英会の学生寮（心塾）やほかの事業・制度について知ることができたこと」との回答であった。

＜年度毎のつどい参加状況＞

| 年度 | 開催日     | 開催地 | 対象の高奨生 | 参加者数内訳(人) |    |    |     | 高奨生参加率 |
|----|---------|-----|--------|-----------|----|----|-----|--------|
|    |         |     |        | 高奨生       | 保護 | 同行 | 合計  |        |
| R1 | 8/17～18 | 東京  | 248    | 78        | 80 | 30 | 188 | 31.5%  |
| R2 |         |     | 中止     |           |    |    |     |        |
| R3 |         |     | 中止     |           |    |    |     |        |
| R4 |         |     | 中止     |           |    |    |     |        |
| R5 | 8/19～20 | 東京  | 175    | 45        | 55 | 20 | 120 | 25.7%  |
| R6 | 8/17～18 | 東京  | 213    | 68        | 74 | 24 | 166 | 31.9%  |
| R7 | 8/16～17 | 東京  | 243    | 81        | 76 | 26 | 183 | 33.3%  |

※高奨生：高校または高等専門学校高等課程に在学する奨学生

## 3. 地域保護者懇談会「語らいカフェ」

令和7年度は、保護者同士の交流や情報交換の場としての懇談会「語らいカフェ」を、全国5か所で開催した。対象者は現役奨学生（高校、大学、大学院、専修学校）の保護者、会場は対象地域のホテルとし、計22名の保護者が参加した。地域別の開催状況は以下のとおり。

<保護者懇談会「語らいカフェ」参加状況>

|    | 開催日   | 開催地  | 対象地域                | 対象人数 | 参加人数 | 参加率   |
|----|-------|------|---------------------|------|------|-------|
| R6 | 7/7   | 新宿   | 神奈川県、千葉県、東京都        | 114  | 6    | 5.3%  |
|    | 9/19  | 倉敷市  | 山口県、島根県、鳥取県、広島県、岡山県 | 43   | 3    | 7.0%  |
|    | 10/29 | 徳島市  | 松山県、愛媛県、高知県、徳島県     | 20   | 2    | 10.0% |
|    | 11/19 | 新宿   | 埼玉県、群馬県、山梨県、長野県     | 50   | 6    | 12.0% |
|    | 12/14 | 京都市  | 岡山県、大阪府、滋賀県、奈良県、京都府 | 105  | 13   | 15.2% |
|    | 計     |      |                     | 332  | 30   | 9.0%  |
| R7 | 7/26  | 金沢市  | 富山県、石川県、福井県、新潟県     | 16   | 2    | 12.5% |
|    | 9/25  | 札幌市  | 北海道                 | 23   | 4    | 17.4% |
|    | 10/25 | 那覇市  | 沖縄県                 | 10   | 3    | 30.0% |
|    | 11/11 | 新潟市  | 新潟県、山形県             | 17   | 5    | 29.4% |
|    | 12/4  | 鹿児島市 | 九州                  | 90   | 8    | 8.9%  |
|    | 計     |      |                     | 156  | 22   | 14.1% |

開催後に実施したアンケートでは、「同じ境遇の方のお話はとても参考になりました。また明日から頑張ろうという元気ももらい、参加して良かったです」「同じような悲しみを経験した方とのお話は、すべて有意義でした。」「子育てについて悩んでいました。主人がいたら相談が出来るのに、いない事に辛くなり、どんどん気持ちが暗くなる事があります。ですが今日の語らいカフェで、そういった悩みが自分だけじゃないと分かり先輩ママからのアドバイスに救われました。」等、好評だった。

#### 4. 海外語学研修

高校奨学生を対象とした海外語学研修を実施し、7月19日～8月9日の3週間、米国カリフォルニア州テメキュラに27人を派遣した。

研修生は、原則英検3級以上の資格を持つ応募者の中から、作文審査、面接審査を経て決定した。

研修生は、現地の家庭にホームステイし、週日の半日は英語教室に通い、残り半日は博物館やシティーホール見学、スポーツなどの課外活動を行い、週末はホストファミリーと過ごす、という形で英会話や米国文化を学ぶとともに、現地の人々と交流した。

<海外語学研修 高奨生の派遣者数> (人)

| 行 先  | R1年度 | R2～R4 年度 | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度 |
|------|------|----------|-------|-------|-------|
| アメリカ | 24   | 中止       | 20    | 27    | 27    |

#### IV. 給付による修学支援

##### \* 1. 家賃補助金

令和7年度における家賃補助金の給付人数および金額は、上期（8月）134人で1,206万円、下期（2月）138人で1,242万円であった。過去5年間の給付の実績は下表のとおりである。

＜家賃補助金の給付人数と給付額＞ (人：千円)

|                              |        | R3 年度  | R4 年度  | R5 年度  | R6 年度  | R7 年度  |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 家賃補助金<br>(月々15千円：<br>半期90千円) | 上期給付人数 | 143    | 149    | 150    | 125    | 134    |
|                              | 下期給付人数 | 141    | 157    | 151    | 125    | 138    |
|                              | 年度総給付額 | 25,560 | 27,540 | 27,090 | 22,500 | 24,480 |

なお、令和8年4月からは、月額15,000円から30,000円（上限）に引き上げることとを決定している。

##### \* 2. 進学受験費用補助

令和7年度から、多くの保護者の要望に応え給付金額の上限を今までの5万円から10万円に増額した。申請は2月末に締切り、3月に送金した。

今年度は51名が申請し、計327万円を給付した。

＜進学受験費用補助の対象人数と給付額＞ (人：千円)

|               |          | R3 年度 | R4 年度 | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度  |
|---------------|----------|-------|-------|-------|-------|--------|
|               |          | 上限5万円 |       |       |       | 上限10万円 |
| 進学受験費用<br>補助金 | 給付人数     | 60    | 59    | 48    | 74    | 51     |
|               | 給付額      | 2,350 | 2,350 | 1,721 | 3,015 | 3,273  |
|               | 一人当たり給付額 | 39.2  | 39.8  | 35.9  | 40.7  | 64.2   |

##### \* 3. 各種資格取得費用補助

###### (1) 普通自動車運転免許取得費用補助

令和7年度から、奨学生や保護者からの要望に応じて給付金額の上限を今までの15万円から30万円に増額した。

今年度の給付人数は113人、給付額は計3,046万円であった。

＜普通自動車運転免許取得費用補助の対象人数と給付額＞ (人：千円)

|                      |      | R3 年度           | R4 年度  | R5 年度  | R6 年度  | R7 年度  |
|----------------------|------|-----------------|--------|--------|--------|--------|
|                      |      | 15万円を上限として半額を補助 |        |        |        | 上限30万円 |
| 普通自動車運転免許<br>取得費用補助金 | 給付人数 | 140             | 116    | 113    | 86     | 113    |
|                      | 給付額  | 20,128          | 16,762 | 16,436 | 12,465 | 30,462 |

(2) 検定試験費用補助（旧 英語検定試験費用補助）

昨年度から全奨学生を対象に、主要な英語検定の受験料を全額給付する英語検定試験費用補助を開始したが、奨学生や保護者からの要望を受け、今年度から新たに7言語の検定と、漢字能力検定、実用数学検定試験、文章読解・作成能力検定、学校指定の外部模擬試験を追加した。

＜英語検定試験費用補助の対象人数と給付額＞（人：千円）

|      | R6 年度        | R7 年度        |
|------|--------------|--------------|
| 給付人数 | 106 人(139 件) | 143 人(198 件) |
| 給付額  | 1,377        | 1,713        |

※カッコ内は申請件数

(3) 資格試験費用補助

今年度から、全奨学生を対象に、新たな修学支援として、資格試験費用補助を開始した。当初19種類で補助をスタートしたが、奨学生からの要望で令和8年3月末現在で81種類の資格試験が対象となっている。WEBと電話（指導課）で新規取り扱い申請を受け付けており、今後も補助対象が増える見込み。

＜資格試験費用補助の対象人数と給付額＞

|         | R7 年度      |
|---------|------------|
| 給付人数（人） | 25 人（34 件） |
| 給付額（千円） | 417        |

V. 学生寮「心塾」の運営等

東京では東京寮とその分室である所沢寮、武蔵境寮、関西では、京都10施設、大阪9施設、兵庫5施設に所在している共立メンテナンスの学生寮、計24施設の一室を借り上げ、関西寮として運営している。

関西寮では、部屋のタイプ（付帯設備）により、学生からは月額15,000円～25,000円の寮費を徴収してきたが、第6次長期事業計画に基づく修学支援事業の一環として、令和7年度からはこれらをすべて東京寮と同じ月額10,000円に変更した。

1. 各寮の状況

心塾課長は、心塾東京寮に勤務し、所沢寮、武蔵境寮、関西寮については、定期的に訪問し、学生の生活状況を確認した。

(1) 東京寮

東京寮は、令和7年4月に新入生14人、在塾生23人の計37人でスタートし、1人が自己都合により途中退寮、9人が卒業、1人が留学予定のため休学。卒業生のうち1人が大学院に進学した。令和8年3月末現在の在寮生は28人である。

(2) 所沢寮

所沢寮は、東京寮より女子1人が転寮、令和8年3月末現在、在寮生は1人である。

(3) 武蔵境寮

武蔵境寮は、令和7年4月に女子1人が東京寮より転寮し、在寮生は男子1人、女子2人の計3人でスタート。令和8年3月に女子1人、男子1人が卒業し、同月末現在の在寮生は1人である。

(4) 関西寮

関西寮は、令和7年4月に在寮生44人、新入生9人、計53人でスタート。自己都合で5人が途中退寮し、14人が卒業、そのうち2人が大学院等に進学した。令和8年3月末現在の在寮生は36人である。

心塾塾生数の推移（年度初めの数字）（人）

| 年度  | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|-----|------|------|------|------|------|
| 東京  | 32   | 29   | 36   | 27   | 37   |
| 所沢  | 2    | 2    | 1    | 1    | 1    |
| 武蔵境 | 3    | 4    | 4    | 3    | 3    |
| 小計  | 37   | 35   | 41   | 31   | 41   |
| 関西  | 51   | 41   | 54   | 60   | 53   |
| 合計  | 86   | 78   | 89   | 101  | 94   |

※所沢寮はR2年4月～5月に改装実施、武蔵境寮はR2年6月開設、東京寮はR6年4月にリニューアルオープン。

## 2. 講座の実施

(1) 東京寮

文章講座およびスピーチ講座は、心塾における講義形式。読書感想文講座は、課題図書を配布し、Word文書で提出する形式。それぞれ下記のとおり4回実施した。このほかに教養講座を1回実施。

①文章講座

第1回講座 テーマ「わかりやすい文書」、作文テーマ「ワクワク・ドキドキ・ゾクゾク」

第2回講座 テーマ「エピソードの書き方」、作文テーマ「遊園地」

第3回講座 テーマ「もうワンステップ上へ」、作文テーマ「おコメ・ご飯」

第4回講座 テーマ「さあ、仕上げだ」、作文テーマ「一番」

②スピーチ講座

第1回講座 テーマ「自己紹介の基本」

第2回講座 テーマ「人生を豊かにする生き方」特別講師 元総合格闘家 大山峻護氏

- 第3回講座 テーマ「ありたい自分」特別講師 元劇団四季俳優 上田亜希子氏  
第4回講座 テーマ「舞台芸術の真髄」特別講師 バレエダンサー 池上直子氏

③読書感想文講座

- 第1回課題図書 伊与原新『月まで三キロ』  
第2回課題図書 森絵都『風に舞いあがるビニールシート』  
第3回課題図書 湯本香樹実『ポプラの秋』  
第4回課題図書 ヘザー・モリス『アウシュビッツのタトゥー係』

④教養講座

9月実施。劇団四季「アナと雪の女王」を観劇した。

(2) 所沢寮・武蔵境寮

東京寮の読書感想文講座に合わせて同講座を実施した。教養講座も同様。

(3) 関西寮

下記の本を課題図書とし、年4回実施した。

①読書感想文講座

- 第1回課題図書 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』  
第2回課題図書 林京子『祭りの場』  
第3回課題図書 今村夏子『こちらあみ子』  
第4回課題図書 津村記久子『サキの忘れ物』

②教養講座

令和7年10月実施。宝塚歌劇団「PRINCE OF LEGEND」を観劇した。

3. 行事について

(1) 東京寮（所沢寮、武蔵境寮を含む）

公式行事として、令和7年4月に「入塾式」、令和8年3月に「卒塾式」を実施した。学生主体行事としては、10月に「夏季キャンプ」、12月に「もちつき大会」を実施し、多くの学生が参加した。

(2) 関西寮

公式行事として、令和7年4月に「入塾式」、令和8年2月に「卒塾式」を実施した。

4. 卒塾生との交流促進

- ①東京寮のもちつき大会の際は、卒塾生が来訪し、在塾生との交流の場を持った。  
また、関西寮の卒塾式では卒塾生も式に出席し、現役生との交流を図った。

## VI. 事業資金の強化・拡大

### 1. 寄付金収入について

令和7年度の寄付金収入は、計画額の8億5,000万円を大きく下回る約6億7,407万円となった。昨今の物価高騰から一般寄付が伸び悩み、昨年度は遺贈寄付で助けられたが、一般寄付のみを比較しても約2億円の減少となった。この一般寄付額の減少が大きな要因となったと考えられる。

また本年度も、昨年度に引き続き、全国9地区（北海道、東北、関東、北信越、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）の広報重点エリアで自動車関係団体や個人の寄付者開拓に向けて多角的な募金活動を展開した。寄付実績が過去の一般的水準より高レベルで推移していることについては、この成果の反映もあるものとみている。

| 1) 総額 |    |     |     |       |     |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     | (百万円) |  |             |
|-------|----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|--|-------------|
| 年度    |    | R3  |     |       | R4  |     |     | R5  |     |     | R6  |     |       | B   |     | R7  |       |  | 対前年度<br>A-B |
|       |    | 上期  | 下期  | 計     | 上期  | 下期  | 計   | 上期  | 下期  | 計   | 上期  | 下期  | 計     | 上期  | 下期  | 計   |       |  |             |
| 計画    |    |     |     | 500   |     |     | 500 |     |     | 750 |     |     | 850   |     |     | 850 |       |  |             |
| 実績    | 一般 | 700 | 309 | 1,009 | 299 | 306 | 605 | 199 | 283 | 482 | 348 | 232 | 580   | 180 | 196 | 376 | ▲ 204 |  |             |
|       | 遺贈 | 11  | 9   | 20    | 213 | 45  | 258 | 282 | 104 | 386 | 346 | 376 | 722   | 86  | 212 | 298 | ▲ 424 |  |             |
|       | 計  | 711 | 318 | 1,029 | 512 | 351 | 863 | 481 | 387 | 868 | 694 | 608 | 1,302 | 266 | 408 | 674 | ▲ 628 |  |             |

### 2) 個人および法人・団体等に層別した寄付内訳 (金額：千円)

| 年度            |      | R3        | R4      | R5      | R6        | R7      |
|---------------|------|-----------|---------|---------|-----------|---------|
| 個人            | 件数   | 11,601    | 11,907  | 12,054  | 12,440    | 12,274  |
|               | 人数   | 2,708     | 2,577   | 2,521   | 2,572     | 2,428   |
|               | 金額   | 833,288   | 674,244 | 713,272 | 990,859   | 509,182 |
| 法人<br>団体<br>等 | 件数   | 1,392     | 1,421   | 1,398   | 1,378     | 1,378   |
|               | 社数   | 628       | 616     | 596     | 560       | 586     |
|               | 金額   | 196,091   | 188,740 | 154,931 | 311,557   | 164,886 |
| 計             | 件数   | 12,993    | 13,328  | 13,452  | 13,818    | 13,652  |
|               | 人/社数 | 3,336     | 3,193   | 3,117   | 3,132     | 3,014   |
|               | 金額   | 1,029,379 | 862,984 | 868,203 | 1,302,416 | 674,068 |

### 2. 寄付金収入の安定化と拡大対策

#### \* (1) デジタルポイント寄付の拡大とデジタル寄付アプリの開発

①従来の募金箱の硬貨に代わるデジタルポイント寄付の導入を試みた。従来からのクレジットカード系のポイント寄付に、銀行系と流通系のポイント寄付を追加して実施した。また、銀行系のポイント寄付から今後の課題が明らかになっており、現在開発中の当会オリジナルアプリの参考とする。

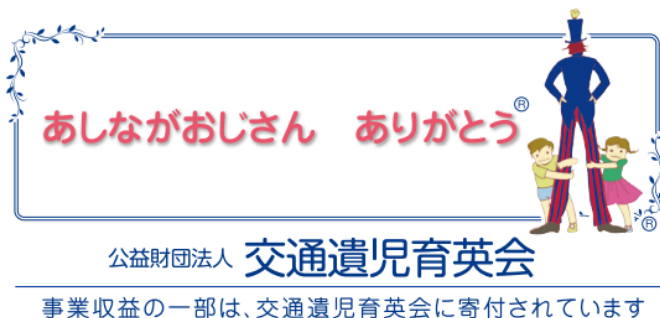
## (2) 訪問接触活動の推進による支援拡大

- ①自動車・交通関連企業などが実施する安全運転企画や全国各地の自治体が開催する「飲酒運転撲滅・根絶」イベント等へ積極的に参加・協力し、交通安全に対する強いメッセージを発信しつつ、当会の事業活動を紹介するとともに、交通遺児への支援を呼びかけた。また全国9地区の広報重点エリアの法人や団体への訪問を継続し、当会への知名度向上、支援の拡大を図るとともに、併せて地方新聞への訪問により記事広告等の掲載も推進した（20 ページⅦ 2 (1)②参照）。
- ②自動車関連、交通安全に携わる企業・団体との協働で製品・商品の販売金額の一部を寄付いただく仕組みの拡大を試みた。
- ③社会貢献・SDGs に積極的な企業・団体に、その活動への協賛等を通じて接触を拡大するとともに、当会のホームページへのリンクを貼ってもらうべく働きかけを継続して推進した。

### \* (3) ツール、商標等の活用拡大と新ツール考案

- ①「あしながおじさんパンフレット」「あしながおじさんポスター」「コラボレーション・ロゴ」等の活用と配布先拡大を図った。

#### <コラボレーション・ロゴ>



#### <ステッカー>



- ②「募金型自動販売機」の戦略的な設置拡大に努めた。  
自動車用品販売会社の全国の140店舗に募金型自動販売機の導入が実施され大幅に導入台数の向上が図れた（主要契約先では前年度の180台から本年度は311台に増加）。
- ③ツール制作にあたっては、当会が保有する商標をフルに活用した。既存のツー

ルについても、商標を活用したデザインを積極的に取り入れて差別化を図った。

＊(4) 遺贈受入れ

- ①遺贈に関与している弁護士、司法書士や金融機関等に、不動産を含む遺贈受け入れなど当会のきめ細かな対応を、パンフレットやホームページ等で周知し、当会を受遺者とする遺言書の作成を推進した。
- ②新聞・雑誌等の外部媒体の遺贈特集に記事広告を掲載するとともに、地方紙が主催する「寄付・相続セミナー」等への説明ブースへも積極的に出展した。
- ③提携する金融機関の遺贈資料を地方紙や雑誌社が主催する「寄付・相続セミナー」等への説明ブースで積極的に提供した。

Ⅶ. 広報活動による知名度・認知度向上への取り組み

令和7年度は、これまでの知名度・認知度向上活動を継続・強化した広報を積極的に展開し、交通遺児家庭への周知徹底と支援者層拡大につなげた。

また、近年、ネット上に意図的に受信者をだますことを目的としてフェイク情報を流す者がいることを常態と認識し、ネット情報の監視の強化と、不当不正な情報に対する適正な対応を継続した。

1. 事務局からの発信による広報

本広報は、まずは交通遺児奨学生家庭の方々、あるいはそのような状況にある人と身近にいる方々を対象として想定した広報である。

(1) ホームページ

当会の活動の最新情報を速やかに広報するため、スピード感を持って情報発信を行い、より見やすく親しみやすい内容やレイアウトに改善するなどの工夫を重ねて、ホームページへのアクセス数増加に取り組んだ。その結果、アクセス数は令和6年度の年間53,843人から本年度は67,936人と約26%増加した。

(2) SNSマーケティング

①「フェイスブック(Facebook)」「エックス(X)」「インスタグラム

(Instagram)」等のSNSは、戦略的にターゲットを絞り、当会の情報を的確、迅速に伝え、知名度および認知度の向上を図ることができるメディアであり、情報発信力を強化することで、フォロワーの増加、ホームページ閲覧に繋がる取り組みを行った。

(3) 広報紙「君とつばさ」

- ①当会の事業活動を広く紹介するため、広報紙「君とつばさ」をより読みやすく、より親しみやすくなるよう不断に刷新し、紙面の充実を図った。
- ②広報紙の機能は、当会と奨学生、保護者、支援者をつなぐことにあり、その観点から配布先の棚卸しおよび適正化を継続した。

③令和7年度は5月号(369号)、8月号(370号)、10月号(371号)、1月号(372号)、3月号(373号)の5回発行し、学校関係、奨学生、支援者などに、毎回約3万部を送付した。

## 2. 新聞、放送等のマス媒体および各地交通安全推進運動への参加等を通じた当会認知度向上および一般支援者拡大策の推進

本項は、当会とは関係を持たない一般の方々を対象とする広報、すなわち当会を認知していない方々の認知度を上げる広報施策である。奨学金制度の存在を知らなかったばかりに進学の機会を逸する交通遺児をできるだけなくすことと、当会の認知度・支援の拡大を目的とする。令和7年に実施したそのような広報は、次のとおり。

### (1) マス媒体を活用した情報発信

- ①当会の奨学金制度についての認知度を向上させるため、発信する内容によって、新聞(一般紙、業界紙)、雑誌(月刊誌、週刊誌)、テレビ、ラジオ、SNS等、適宜メディアを選別しつつ、当会の事業活動上の重要な決定事項や主な行事について、積極的に情報を発信した。また、ニュースリリース等で記者に伝わりやすくより多くのメディアに採り上げてもらえるような工夫を図り、記事として掲載されるよう努めた。
- ②令和6年度に有力地元紙(北海道地区/関東地区/北陸地区/中京地区/中国地区/福岡地区/沖縄地区)で展開した「対談企画」を、令和7年度も地区を拡大(東北地区)して継続した。詳細は次表のとおり。

#### <石橋会長との「対談企画」の実施状況>

| 対談日   | 対談相手                                            | 媒体                     | 掲載日   | 発行エリア          |
|-------|-------------------------------------------------|------------------------|-------|----------------|
| 4/15  | 一力雅彦氏(河北新報代表取締役社長)                              | 河北新報                   | 5/22  | 宮城県            |
| 6/10  | 真弓明彦氏(北海道交通安全推進委員会 会長)                          | 北海道新聞                  | 7/13  | 北海道            |
| 7/ 4  | <small>おおばしげみ</small> 大庭茂彌氏(福岡県を中心に飲酒運転撲滅活動を行う) | 西日本新聞                  | 8/24  | 福岡県            |
| 10/ 9 | 大池水杜氏(自転車BMX選手)                                 | 山陽新聞                   | 11/30 | 岡山県            |
| 9/10  | 風見しんご氏(タレント)                                    | 中日新聞<br>東京新聞<br>北陸中日新聞 | 12/1  | 中部<br>関東<br>北陸 |
| 11/10 | 尾野真千子氏(俳優)                                      | 琉球新報                   | 12/20 | 沖縄             |

- ③奨学課と連携し、全国の各学校、教育委員会等への広報を継続的、積極的に推進した。

### (2) メディアとの良好なリレーション作り

- ①持続的な記事露出やリスク対応の観点から、日頃のコミュニケーション活動

を基本に、メディアとの良好なリレーション作り（＝ファン作り）を積極的に推進した。

- ②当会の独自イベント（「高校奨学生と保護者のつどい」、「海外語学研修」、「語らいカフェ」、「無料出張講演」）や様々な取り組みをタイムリーに発信することにより、記者に積極的に働きかけた。

- ③ACジャパンへ再度、広告申請を行ったが、採用には至らなかった。

- (3) 交通安全/飲酒運転撲滅運動への協賛等による情報発信

春、秋の全国交通安全運動に協賛団体として参加するほか、全国を9地区（北海道、東北、関東、北信越、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）に分け、それぞれ広報重点エリアの地元紙、自動車や物流関連の業界紙を通じて地域・自治体・団体との連携を推進し、当会認知度の向上を図った。特に交通事故死者数の多い地区（北海道、宮城、福岡）の交通安全推進運動に積極的に参画した。

- (4) 遺贈・相続受け入れ等の積極的広告宣伝活動（「VI. 事業資金の強化・拡大」（19 ページ）に記載）

- (5) 当会と交通遺児家庭についての理解を深める活動の推進

- ①無料出張講演の実施

講演会用に制作したDVDを活用しながら、小回りのきく出張講演を数多く実施（令和7年度は46回開催）することにより、交通安全意識の啓発を行うとともに交通遺児、当会の活動内容、歴史への理解を促進した。

#### <無料出張講演の実施状況>

| No. | 月日    | 相手先                 |
|-----|-------|---------------------|
| 1   | 4/10  | 長崎県指定自動車学校協会        |
| 2   | 4/24  | 東海部品工業㈱（愛知県刈谷市）     |
| 3   | 5/24  | ㈱ゆだ（山口市）            |
| 4   | 6/ 4  | 小笠原自動車教習所（南アルプス市）   |
| 5   | 6/13  | 愛媛県警察本部 運転免許課       |
| 6   | 6/17  | 高知県警察本部 交通部運転免許センター |
| 7   | 6/19  | 高知県警察本部 交通部運転免許センター |
| 8   | 7/ 1  | 徳島県警察 運転免許課         |
| 9   | 7/10  | ㈱きんでん 東関東支社（千葉市）    |
| 10  | 7/16  | 山形県置賜地区 交通安全母の会     |
| 11  | 7/24  | 茨城県指定自動車教習所協会       |
| 12  | 8/ 4  | トヨタ自動車㈱ トヨタ技能養成所    |
| 13  | 8/19  | 名鉄バス㈱               |
| 14  | 8/27  | 山形県最上地区 交通安全母の会     |
| 15  | 9/ 2  | 東関東交通㈱（成田市）         |
| 16  | 9/27  | ㈱キョウエイファイン（豊田市）     |
| 17  | 10/10 | 愛媛県警察本部 運転免許課       |
| 18  | 10/28 | 中国タクシー株式会社          |

|    |       |                              |
|----|-------|------------------------------|
| 19 | 10/28 | 中国タクシー株式会社                   |
| 20 | 11/14 | 愛媛県警察本部 運転免許課                |
| 21 | 11/17 | 新潟海上保安部                      |
| 22 | 11/19 | 七尾海上保安部                      |
| 23 | 11/20 | 公立大学法人 島根県立大学 教育研究支援部        |
| 24 | 11/20 | 能登海上保安署                      |
| 25 | 11/27 | 佐渡海上保安署                      |
| 26 | 11/28 | ブリヂストン労働組合 彦根支部              |
| 27 | 12/ 1 | 第九管区海上保安本部                   |
| 28 | 12/ 2 | 新潟航空基地                       |
| 29 | 12/15 | 伏木海上保安部                      |
| 30 | 12/16 | アワーズシステム(株) AWS 動物学院 (和歌山県)  |
| 31 | 12/17 | 上越海上保安署                      |
| 32 | 12/18 | あいおいニッセイ同和損害保険(株) 東京東支店      |
| 33 | 12/18 | ブリヂストン労働組合 久留米支部             |
| 34 | 12/22 | NEXCO 東日本高速道路(株) 東北支社        |
| 35 | 12/23 | 金沢海上保安部                      |
| 36 | 1/ 5  | サクセス産業(株) (新潟市)              |
| 37 | 1/ 8  | 帯広市役所                        |
| 38 | 1/14  | 滋賀県立能登川高等学校                  |
| 39 | 1/26  | 東京海上日動火災保険(株) 大阪北・大阪北 K1 チーム |
| 40 | 2/ 6  | あいおいニッセイ同和損害保険(株) 東京モビリティ営業部 |
| 41 | 2/13  | 関東日本フード(株)                   |
| 42 | 3/ 4  | 神奈川県指定自動車教習所協会               |
| 43 | 3/ 5  | 神奈川県指定自動車教習所協会               |
| 44 | 3/ 6  | 神奈川県指定自動車教習所協会               |
| 45 | 3/11  | 三菱自動車工業(株) 京都製作所             |
| 46 | 3/28  | 愛知陸運(株) 神戸営業所                |

## ②小冊子（第一集/第二集）の継続配布

交通遺児やその保護者の方々の苦労や頑張りを社会の人たちに知ってもらうために発行した小冊子を各方面に配布し、人々の交通遺児家庭についての理解を深める活動を促進した。

## ③「生活状況報告書」と「奨学生の生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー調査）」の活用

「生活状況報告書」と令和7年6月～7月に実施した「ヤングケアラー調査」のデータを、専門家の監修も受けつつ詳細に分析し、交通遺児家庭の生活実態やヤングケアラーの実態について、個人情報保護に留意しながらメディアに情報提供した。

## (6) 警察との協力/連携

- ①警察庁交通局と連携し、交通事故被害者への配布用に、警視庁および全国の警察署に当会の事業紹介パンフレット計1万3,000部を送付した。

別表 奨学生現況表〔高校・大学・大学院・専修・各種 学年別〕 (令和8年3月31日現在)

| 区分・学年  |     | 高校・高専                                |    |    |   |   |     | 大学・短大  |    |     |     |    |   | 院・修士 |    |    | 院・博士 |   |         |   |   | 専修 |    |    |    |   | 各種 |   |   |   |   | 合計 |     |    |
|--------|-----|--------------------------------------|----|----|---|---|-----|--------|----|-----|-----|----|---|------|----|----|------|---|---------|---|---|----|----|----|----|---|----|---|---|---|---|----|-----|----|
|        |     | 1                                    | 2  | 3  | 4 | 5 | 計   | 1      | 2  | 3   | 4   | 5  | 6 | 計    | 1  | 2  | 計    | 1 | 2       | 3 | 4 | 計  | 1  | 2  | 3  | 4 | 計  | 1 | 2 | 3 | 4 |    | 計   |    |
| 北海道    |     | 2                                    | 7  | 1  |   |   | 10  | 6      | 3  | 7   | 7   |    |   | 23   | 2  | 1  | 3    |   |         |   |   |    | 0  | 1  | 1  | 1 |    | 3 |   |   |   |    | 0   | 39 |
| 東北     | 青森  |                                      |    |    |   |   | 0   | 1      |    |     | 1   |    |   | 2    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 1  | 1  |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 4   |    |
|        | 岩手  |                                      | 1  | 2  |   |   | 3   |        |    |     | 1   |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   | 1 | 1  | 5   |    |
|        | 宮城  | 3                                    | 1  | 2  |   |   | 6   | 2      | 5  | 2   | 2   |    |   | 11   |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 2  |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 19  |    |
|        | 秋田  |                                      |    |    |   |   | 0   | 2      |    |     |     |    |   | 2    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 2   |    |
|        | 山形  |                                      |    |    |   |   | 0   | 2      | 1  | 2   |     |    |   | 5    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 1  |    |    | 1 | 2  |   |   |   |   | 0  | 7   |    |
| 福島     |     | 1                                    | 2  | 1  |   |   | 4   | 2      | 1  | 1   | 2   |    |   | 6    | 1  |    | 1    |   |         |   |   | 0  |    |    | 1  |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 12  |    |
| 関東     | 茨城  | 2                                    | 2  | 4  |   |   | 8   | 1      | 1  |     | 2   |    |   | 4    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 13  |    |
|        | 栃木  | 1                                    | 1  | 2  |   |   | 4   |        | 1  | 2   | 1   |    |   | 4    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 2  |    |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 10  |    |
|        | 群馬  | 1                                    |    | 2  |   |   | 3   | 1      | 2  | 2   | 2   |    |   | 7    | 1  |    | 1    |   |         |   |   | 0  |    |    | 1  |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 12  |    |
|        | 埼玉  | 3                                    | 1  | 2  |   |   | 6   | 2      |    | 4   | 4   | 1  |   | 11   |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 2  | 3  |    |   | 5  |   |   |   |   | 0  | 22  |    |
|        | 千葉  | 2                                    | 2  | 4  |   |   | 8   | 3      | 2  | 4   | 2   | 1  |   | 12   |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 1  | 2  | 1  | 1 | 5  |   |   |   |   | 0  | 25  |    |
|        | 東京  | 8                                    | 9  | 10 |   |   | 27  | 7      | 8  | 14  | 12  | 1  | 2 | 44   | 1  |    | 1    |   |         |   |   | 0  | 1  | 1  |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 74  |    |
|        | 神奈川 | 4                                    | 3  | 5  |   |   | 12  | 3      | 4  | 6   | 8   | 2  |   | 23   |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 2  | 1  |   | 3  |   |   |   |   | 0  | 38  |    |
| 中部     | 新潟  | 2                                    | 2  | 3  |   |   | 7   | 3      | 3  | 1   | 2   |    |   | 9    | 1  | 1  | 1    |   |         |   |   | 0  | 1  |    |    | 1 | 2  |   |   |   |   | 0  | 19  |    |
|        | 富山  | 1                                    |    |    |   |   | 1   | 1      |    |     |     |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 2   |    |
|        | 石川  |                                      |    |    |   |   | 0   | 1      | 4  |     | 1   |    |   | 6    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    | 0 |    |   |   |   |   | 0  | 6   |    |
|        | 福井  |                                      | 1  |    |   |   | 1   |        |    | 1   |     |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    | 1  |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 3   |    |
|        | 山梨  |                                      |    |    |   |   | 0   |        | 1  | 1   | 2   |    |   | 4    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 5   |    |
|        | 長野  | 1                                    | 2  | 3  |   |   | 6   | 1      | 1  | 1   | 2   |    |   | 5    | 1  | 1  | 2    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 13  |    |
|        | 岐阜  | 3                                    | 3  | 2  |   |   | 8   | 8      | 2  | 3   | 1   |    |   | 14   |    | 1  | 1    |   |         |   |   | 0  |    | 2  |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 25  |    |
|        | 静岡  | 2                                    | 5  |    |   |   | 7   | 1      | 6  | 7   | 4   | 1  |   | 19   | 1  | 1  | 1    |   |         |   |   | 0  |    | 1  | 1  |   | 2  | 1 |   |   | 1 | 30 |     |    |
|        | 愛知  | 6                                    | 13 | 7  |   |   | 26  | 11     | 1  | 12  | 8   | 1  | 1 | 34   | 4  | 1  | 5    | 2 |         |   |   | 2  | 1  | 2  | 1  |   | 4  |   |   |   |   | 0  | 71  |    |
|        | 三重  | 1                                    | 1  |    |   |   | 2   |        | 2  | 2   |     |    |   | 4    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    | 1 | 1  |   |   |   |   | 0  | 7   |    |
| 近畿     | 滋賀  | 3                                    |    |    |   |   | 3   | 3      |    | 1   | 3   |    |   | 7    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    | 1 | 2  |   |   |   |   | 0  | 12  |    |
|        | 京都  | 2                                    | 1  | 3  |   |   | 6   | 1      | 5  | 4   | 1   |    |   | 11   | 1  |    | 1    |   |         |   |   | 0  | 3  | 3  |    |   | 6  |   |   |   |   | 0  | 24  |    |
|        | 大阪  | 8                                    | 9  | 13 |   |   | 30  | 13     | 13 | 13  | 7   |    |   | 46   |    | 1  | 1    |   |         |   |   | 0  | 3  | 2  | 2  | 1 | 8  |   |   |   |   | 0  | 85  |    |
|        | 兵庫  | 8                                    | 6  | 10 |   |   | 24  | 8      | 3  | 9   | 10  |    |   | 30   | 2  | 1  | 3    |   | 1       |   |   | 1  | 1  | 2  |    |   | 3  |   |   |   |   | 0  | 61  |    |
|        | 奈良  | 2                                    | 1  |    |   |   | 3   | 2      |    | 6   | 2   | 1  |   | 11   |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 15  |    |
| 和歌山    |     | 1                                    |    | 2  |   |   | 3   | 1      | 2  | 1   | 4   |    |   | 8    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 12  |    |
| 中国     | 鳥取  |                                      |    |    |   |   | 0   |        |    | 1   |     |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 1   |    |
|        | 島根  | 1                                    | 1  |    |   |   | 2   |        |    |     | 1   |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 4   |    |
|        | 岡山  | 4                                    |    | 3  |   |   | 7   | 2      | 1  | 3   | 3   |    |   | 9    | 1  |    | 1    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 17  |    |
|        | 広島  | 4                                    | 2  | 3  |   |   | 9   | 5      | 1  | 3   | 2   |    |   | 11   |    |    | 0    | 1 |         |   |   | 1  | 1  | 1  |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 23  |    |
| 山口     |     |                                      | 1  |    |   |   | 1   | 1      | 2  |     |     | 1  | 4 |      |    | 0  | 1    |   |         |   |   | 1  |    |    |    | 1 | 1  |   |   |   |   | 0  | 7   |    |
| 四国     | 徳島  |                                      |    | 1  |   |   | 1   |        |    | 3   |     |    |   | 3    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 4   |    |
|        | 香川  |                                      | 3  |    |   |   | 3   | 1      | 1  |     |     |    |   | 2    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 5   |    |
|        | 愛媛  | 2                                    | 1  | 2  |   |   | 5   | 5      | 2  | 2   | 1   |    | 1 | 11   |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 16  |    |
|        | 高知  | 1                                    | 1  | 1  |   |   | 3   |        | 1  |     |     | 1  |   | 2    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 5   |    |
| 九州     | 福岡  | 5                                    | 4  | 5  |   |   | 14  | 3      | 3  | 7   | 6   |    | 1 | 20   |    | 2  | 2    |   |         |   |   | 0  | 2  | 2  | 1  |   | 5  |   |   |   |   | 0  | 41  |    |
|        | 佐賀  | 2                                    |    | 1  |   |   | 3   | 1      |    |     |     |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 1  | 1  |    |   | 2  |   |   |   |   | 0  | 6   |    |
|        | 長崎  | 2                                    | 1  |    |   |   | 3   |        | 1  |     | 2   |    |   | 3    | 1  |    | 1    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 7   |    |
|        | 熊本  | 1                                    | 3  |    |   |   | 4   |        | 1  | 1   | 2   | 1  |   | 5    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  | 5  | 2  |    |   | 7  |   |   |   |   | 0  | 16  |    |
|        | 大分  |                                      |    | 2  |   |   | 2   |        |    |     | 1   |    |   | 1    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    | 1  |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 4   |    |
|        | 宮崎  |                                      |    |    |   |   | 0   | 1      | 2  | 2   | 1   |    |   | 6    |    |    | 0    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 0  |   |   |   |   | 0  | 6   |    |
| 鹿児島    |     | 1                                    | 4  |    |   |   | 5   | 2      | 3  | 1   | 3   |    |   | 9    |    | 1  | 1    |   |         |   |   | 0  | 2  | 1  | 1  |   | 4  |   |   |   |   | 0  | 19  |    |
| 沖縄     |     | 1                                    | 1  |    |   |   | 2   | 1      | 2  | 3   |     |    |   | 6    |    | 1  | 1    |   |         |   |   | 0  |    |    |    |   | 1  |   |   |   |   | 0  | 10  |    |
| 合計     |     | 91                                   | 95 | 96 | 0 | 0 | 282 | 108    | 91 | 132 | 113 | 10 | 6 | 460  | 15 | 12 | 27   | 4 | 1       | 0 | 0 | 5  | 29 | 39 | 12 | 7 | 87 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2  | 863 |    |
| 備考(内数) |     | 高校・定時制:4人<br>高校・通信制:44人<br>高専・専攻科:4人 |    |    |   |   |     | 短大:16人 |    |     |     |    |   |      |    |    |      |   | 高等課程:4人 |   |   |    |    |    |    |   |    |   |   |   |   |    |     |    |

○奨学貸与金増減残高状況(修正)

令和7年度の奨学貸与金の増減残高状況は、次の通りである。

(貸倒引当金 331,100,000円控除前の金額)

(単位:円)

|           |         | 高等学校奨学金        | 大学奨学金          | 大学院奨学金        | 専修学校奨学金       |
|-----------|---------|----------------|----------------|---------------|---------------|
| 奨学貸与金期首残高 |         | 3,167,239,526  | 4,294,165,346  | 281,433,073   | 1,080,850,204 |
| 貸与        | 当期貸与高   | 52,780,000     | 159,960,000    | 19,680,000    | 32,240,000    |
|           | 前期繰越貸与高 | 27,300,688,500 | 19,760,177,059 | 995,890,000   | 3,689,340,000 |
|           | 次期繰越貸与高 | 27,353,468,500 | 19,920,137,059 | 1,015,570,000 | 3,721,580,000 |
| 返還        | 当期返還高   | 225,680,600    | 390,384,162    | 24,732,512    | 90,387,642    |
|           | 前期繰越返還高 | 23,586,602,036 | 15,167,994,258 | 693,463,907   | 2,528,040,771 |
|           | 次期繰越返還高 | 23,812,282,636 | 15,558,378,420 | 718,196,419   | 2,618,428,413 |
| 免除        | 当期免除高   | 59,154,922     | 41,183,902     | 3,175,000     | 18,011,000    |
|           | 前期繰越免除高 | 546,816,438    | 298,024,125    | 21,074,000    | 80,398,045    |
|           | 次期繰越免除高 | 605,971,360    | 339,208,027    | 24,249,000    | 98,409,045    |
| 奨学貸与金残高   |         | 2,935,184,004  | 4,022,557,282  | 273,205,561   | 1,004,691,562 |

|           |         | 各種学校奨学金     | 奨学金合計          | 高等学校入学一時金<br>進学準備金 | 進学支援金     |
|-----------|---------|-------------|----------------|--------------------|-----------|
| 奨学貸与金期首残高 |         | 38,927,478  | 8,862,615,627  | 1,383,181,205      | 1,600,000 |
| 貸与        | 当期貸与高   | 960,000     | 265,620,000    | 34,600,000         | 2,200,000 |
|           | 前期繰越貸与高 | 170,590,000 | 51,916,685,559 | 3,258,450,000      | 1,600,000 |
|           | 次期繰越貸与高 | 171,550,000 | 52,182,305,559 | 3,293,050,000      | 3,800,000 |
| 返還        | 当期返還高   | 3,929,408   | 735,114,324    | 78,825,596         | 0         |
|           | 前期繰越返還高 | 129,055,882 | 42,105,156,854 | 1,764,668,727      | 0         |
|           | 次期繰越返還高 | 132,985,290 | 42,840,271,178 | 1,843,494,323      | 0         |
| 免除        | 当期免除高   | 1,052,215   | 122,577,039    | 18,887,515         | 0         |
|           | 前期繰越免除高 | 2,606,640   | 948,919,248    | 110,596,728        | 0         |
|           | 次期繰越免除高 | 3,658,855   | 1,071,496,287  | 129,484,243        | 0         |
| 奨学貸与金残高   |         | 34,905,855  | 8,270,544,264  | 1,320,068,094      | 3,800,000 |

|           |         | 大学入学一時金       | 専修学校入学一時金   | 各種学校入学一時金  | 入学一時金等合計      | 合計             |
|-----------|---------|---------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| 奨学貸与金期首残高 |         | 590,959,207   | 230,491,487 | 5,675,528  | 2,211,907,427 | 11,074,523,054 |
| 貸与        | 当期貸与高   | 14,400,000    | 3,600,000   | 800,000    | 55,600,000    | 321,220,000    |
|           | 前期繰越貸与高 | 1,909,150,000 | 493,200,000 | 13,400,000 | 5,675,800,000 | 57,592,485,559 |
|           | 次期繰越貸与高 | 1,923,550,000 | 496,800,000 | 14,200,000 | 5,731,400,000 | 57,913,705,559 |
| 返還        | 当期返還高   | 43,510,876    | 17,047,792  | 369,540    | 139,753,804   | 874,868,128    |
|           | 前期繰越返還高 | 1,277,126,178 | 246,141,703 | 6,869,242  | 3,294,805,850 | 45,399,962,704 |
|           | 次期繰越返還高 | 1,320,637,054 | 263,189,495 | 7,238,782  | 3,434,559,654 | 46,274,830,832 |
| 免除        | 当期免除高   | 5,728,741     | 2,966,840   | 720,000    | 28,303,096    | 150,880,135    |
|           | 前期繰越免除高 | 39,461,285    | 16,566,810  | 856,900    | 167,481,723   | 1,116,400,971  |
|           | 次期繰越免除高 | 45,190,026    | 19,533,650  | 1,576,900  | 195,784,819   | 1,267,281,106  |
| 奨学貸与金残高   |         | 556,119,590   | 214,076,855 | 5,385,988  | 2,099,450,527 | 10,369,994,791 |